

社会資本整備審議会 道路分科会

第9回近畿地方小委員会

議事概要（案）

1. 日 時 平成 25 年 12 月 25 日（水） 17:00～18:10
2. 場 所 近畿地方整備局 第一別館 3階 第四会議室
3. 出席者

[委員]

うらお 浦尾	こ たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと 川本	よしみ 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授
たまおか 玉岡	かおる	作家、兵庫県教育委員
むねた 宗田	よしふみ 好史	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
やました ◎山下	あつし 淳	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

(1) 優先区間の絞り込みのに向けた検討について

- ・播磨臨海地域道路

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■地域の現状と課題、道路交通の現状と課題について

- ・ どの区間を選定すれば、より多くの課題が解決するのかを、シミュレーションを実施するなどして説明することが必要。
- ・ 交通量だけを示すのではなく、一般車と大型車の割合を示すことも必要。
- ・ 埋立地をはじめとする地盤の状況や地震による影響度合いについても示して欲しい。
- ・ この地域の流動実態やもう少し広域的な流動実態を、高速道路、一般道、一般車両も含めて、分析することが必要。
- ・ 周辺の医療施設や災害拠点へのアクセスの観点での分析が必要。
- ・ 周辺の土地利用状況のデータを整理することが必要。
- ・ 臨海部の低未利用地が道路整備によりどう利用されるかが重要であり、沿線地元自治体が将来の展望をどう描いているかを把握する必要がある。
- ・ 沿線地元自治体毎の都市計画がどの程度整備されてきたか、整備が遅れている地域でどのような課題が残されているか把握することが必要。
- ・ 大気や騒音等の環境の課題についても分析する必要がある。
- ・ ものづくりの実力等も含め、地域の現状と課題を地元住民も十分把握して

いないのでPRしていく必要がある。

- ・ ネットワークの優先順位の考え方について、広域な範囲で高速道路も含め教えて欲しい。
- ・ どのような観点で優先区間を絞り込むかを検討するには、ルートが山側なのか臨海部なのかで変わってくるため、概略のルートを示して欲しい。
- ・ この地域全体の優先区間が高いと考えれば、「優先区間の絞り込み」という表現ではなく、「先行的に整備する区間」という表現にした方が良いのではないか。

■今後の進め方について

- ・ 特に意見なし。

－ 以 上 －